

2020年6月5日

各 位

会社名 株式会社 MCJ
代表者名 代表取締役会長兼 CEO 高島 勇二
(東証第二部 コード番号: 6670)
問合せ先 経営企画室 広報 IR 担当
ir-otoiawase@mcj.jp

第22回定時株主総会の議案に関する補足説明

今般、Institutional Shareholder Services, Inc. (以下、「ISS」)より、当社の第22回定時株主総会(以下、「本総会」)における第3号議案「取締役に対する業績連動型株式報酬制度導入の件」について反対推奨がなされました。

つきましては、下記の通りISSの推奨に対する当社の見解をご説明させていただきます。

株主の皆さまにおかれましては、下記補足説明をご確認いただき、当該議案に関し何卒ご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

記

1. ISSの反対推奨の内容

ISSは、本総会における第3号議案「取締役に対する業績連動型株式報酬制度導入の件」への反対推奨を行っております。その理由として、業績連動報酬の付与に関しての具体的な基準(specific performance hurdles)を明記していないこと及び、仮に具体的な基準開示が無いにせよ本総会后3年未満(in less than three years)(但し退任予定者への付与を除く)で対象者への株式譲渡が行われることを挙げております。

2. 当社の見解

本総会の招集ご通知9ページに記載いたしておりますとおり、本総会の開催が現中期経営計画の2年目にあたる事から、「初回のみ」その対象期間を2021年3月末日で終了する事業年度から2022年3月末日で終了する事業年度までの2事業年度としており、ISSの指摘する3年未満での株式譲渡に該当致しますが、当初対象期間経過後に開始する期間につきましては本業績連動報酬の本来の趣旨である中長期的な業績、すなわち中期経営計画及びその期間との連動を念頭に3事業年度ごとの期間を対象期間としており、株式譲渡も同様に3年ごととなっております。

これは、後述する業績評価係数として、中期経営計画を基準とした連結営業利益成長率及び連結ROEを使用するため、「初回の対象期間のみ」現中期経営計画の期間に合わせ2事業年度とするものです。

また、業績連動型株式報酬は、当初対象期間又は対象期間における企業価値や株主価値の成長度等に応じて当社株式等の給付を行うものであり、採用する評価指標、仕組み、給付される当社株式等の算定方法は以下のとおりです。なお、役職ごとのポイントに対する考え方や各指標に係る具体的な計算方法等の詳細は本総会終了後に開示予定の『有価証券報告書』にて開示いたします。

- ・交付される株式の数は、役職位に応じた基準ポイント×業績評価係数にて算出いたします。
- ・業績評価係数は、連結営業利益成長率、連結ROE、TSR(TOPIX成長率比較)の3つの評価指標にて算定いたします。

このように、本議案は、対象役員の報酬と当社の業績及び株式価値との連動性をより明確にし、対象役員が株価上昇によるメリットのみならず、株価下落リスクまでも株主の皆様と共有することで、中長期的な業績の向上と企業価値の増大に貢献する意識を高めることを目的としております。

従いまして、当社といたしましては、かかる目的に照らし、本議案の内容は相当であるものと考えておりますので、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

以上